

奥州市立病院・診療所経営強化プラン（案）に係る意見公募（パブリックコメント）手続の結果について

1 意見公募（パブリックコメント）手続の実施概要

- (1) 意見募集期間 令和6年1月17日（水）～令和6年2月5日（月）
- (2) 閲覧場所 市ホームページのほか、市役所本庁総合案内、各市立医療施設、各総合支所健康福祉グループ（江刺・胆沢（悠悠館））及び市民福祉グループ（前沢・衣川）
- (3) 意見を提出できる方 市内に在住、在勤又は在学の方
- (4) 意見の提出方法 住所、氏名等を明記し、郵送、FAX、電子メール、持参のいずれかの方法による。

- 2 意見の提出状況 提出者 6人（郵送0人、FAX1人、電子メール5人、持参0人）
意見数 33件（①－7件、②－7件、③－7件、④－4件、⑤－4件、⑥－4件）

3 意見の区分と件数

- (1) 市の施策に関する事 7件
- (2) 新医療センターの整備に関する事 5件
- (3) 医療機能に関する事 5件
- (4) 経営に関する事 4件
- (5) 医師確保に関する事 3件
- (6) 在宅医療に関する事 3件
- (7) 事業運営に関する事 3件
- (8) プラン全般に関する事 3件

4 意見への対応区分と件数

- A：プランへ反映させるもの 3件
- B：プラン同趣旨あるいは記載済のもの 5件
- C：プランに反映させないもの 1件
- D：その他、要望・意見・感想等 24件

5 意見とそれに対する検討結果等

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
1	<p>【プラン全般に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそもは総合水沢病院の建て替え問題であったはずでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本プランは国のガイドラインに基づき、令和5年度から9年度までの経営強化の取り組みについて記載するプランとなっています。 	D
2	<p>【経営に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合水沢病院の経営分析結果を示して、赤字の理由を分かりやすく説明してほしい。赤字を補填すべき市立病院存続の理由になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本プランでは現在の経営状況を踏まえながら計画期間中の経営改善の取り組みを記載するものです。 ・令和5年6月に策定した地域医療奥州市モデルにおいて、5つの市立医療施設は、県立病院、民間医療施設、それぞれの強みを生かしながら機能分化を図るとともに、人的つながりを深めつつ、医療情報のデジタル化などDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によって連携を強化し、地域全体をカバーするネットワーク型地域医療体制を構築することとしています。 	D
3	<p>【医師確保に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師確保で奨学金貸与者を当てにするのは時代に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の実績として奨学金関係の医師が3名着任しており、奨学金制度は医師招へいの有効な手段の一つと考えています。これに加え、大学との連携強化や医師紹介業者の活用など、医師招聘を進めていきます。 	C

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
4	<p>【医療機能に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムでの総合水沢病院（医療センター）の役割、位置づけを説明してほしい。 ・地域包括ケア病床の増床や理学療法士の増員が書かれているが作業療法士が抜けている。 ・関係部局で検討が行われているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン案 P22 の「地域包括ケアシステム構築に向け果たすべき役割・機能」を記載しています。新医療センターの役割や位置づけについては新医療センター整備基本構想・基本計画で詳細をお示しします。 ・P39 の総合水沢病院の具体的な取組に、「作業療法士」の職種を追記しました。 ・プランの策定にあたっては関係部局と協議をして策定作業を行っています。 	A
5	<p>【プラン全般に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民から意見を求めるがどのように活用されるのかが不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見は、対応方針を検討し、プランへの反映又は施策検討の参考とさせていただきます。 	D
6	<p>【新医療センター整備に関するご意見】 （新医療センターの整備について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長は民間経験を生かして早く安く作ると話されていたが、成案がなかなかまとまらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新医療センター整備基本構想を令和 6 年 1 月に策定し、引き続き整備基本計画の策定を進めています。 	D
7	<p>【経営に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療局、とりわけ総合水沢病院の大赤字は続いていて、コロナが収束すれば補助金も減るので赤字額はまた大きな金額に戻るでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営強化プランの着実な実施により、医療局全体での収支均衡が図れるように取り組みを進めていきます。 	D
8	<p>【経営に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の総合水沢病院の経営状態は人件費比率が高く、経営的には常に赤信号です。原因は多岐にわたりますが、余剰人員を多数雇用しているためとお聞きしました。人員構成割合などの構造改革も必要なのではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の医療提供体制を維持するための人数であり、余剰の人員を多く抱えているものでは無いと考えています。全国的な状況を見ても 200 床未満の規模の病院では人件費比率が高くなる傾向となっています。経営強化を図るうえで、収入の確保と適正な構造改革も含めて取り組みを進めていきます。 	D

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
9	<p>【新医療センター整備に関するご意見】</p> <p>・現状の建て替えでは負債が増加する。現状の建て替えは反対だが病床の削減等の検討が必要。</p>	<p>・新医療センターの整備につきましては、令和6年1月に整備基本構想を策定し、引き続き整備基本計画の検討を進めているところです。病床の規模などについても、基本計画の検討の中で引き続き協議してまいります。</p>	D
10	<p>【医師確保に関するご意見】</p> <p>・今後さらに医師の確保が困難となります。大学でも派遣ができない状況となっており、医療資源の確保がそもそも困難という事です。</p>	<p>・社会情勢の変化により、医師や看護師、医療技術職の確保は難しい状況となっています。奨学生の義務履行の推進や派遣業者の活用、採用条件の見直しなどの取り組みにより必要人員の確保に努めてまいります。</p>	D
11	<p>【新医療センター整備に関するご意見】</p> <p>・診療科の整理を行い、地域全体の医療の充実、確保に努めるとともに、県立病院、開業医との役割分担・連携を図り、適切な構成を目指し診療科（産科等）によってはもっと広域的に、他地域との医療資源の共有も視野に入れた計画が必要と考えます。</p>	<p>・新医療センターの整備につきましては、令和6年1月に整備基本構想を策定し、整備基本計画の検討を進めているところです。いただいたご意見を含め、診療科や病床の規模などについて、基本計画の検討の中で協議してまいります。</p>	D
12	<p>【新医療センター整備に関するご意見】</p> <p>・人件費等の削減を実現できれば建設費も縮小でき経営の健全化も不可能ではないと考えます。少なくとも市民の負担は軽減できます。</p>	<p>・新医療センターの整備につきましては、令和6年1月に整備基本構想を策定し、整備基本計画の検討を進めているところです。施設規模や人員体制についても、基本計画において検討してまいります。</p>	D

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
13	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記により生じた資金を医療以外、予防・健康増進、介護・福祉、生活サービス・アメニティーに振り分け、医療の総合化を進め市民の健康を維持増進すべきと考えます。 ・医療以外でも若者支援、少子化対策等に振り分けることが今後の奥州市として望ましい支出の在り方と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営の健全化を図り、他の施策に支障が生じないように努めていきます。 ・健康増進などの施策推進については、連携を図りながら進めていきます。 	D
14	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長の母校、北海道大学において過疎地の地域医療分野で活躍している先生方のお知恵を拝借するなどして奥州市の計画を立案すべきと考えます。 ・他の都道府県において参考となる取り組みについてアンテナを高くし情報収集を怠らないよう心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療奥州市モデルや新医療センターの整備を進めるにあたり、有識者のアドバイスを受けながら計画策定を進めております。引き続き先進地事例の情報収集や適切な時期での情報発信に努めていきます。 	D
15	<p>【プラン全般に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省の経営アドバイザーの経営診断から相当月日が経過していることから、現在の計画案を一旦棚上げし、もう一度医療資源の状況を把握することが必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本プランは国のガイドラインに基づき令和5年度中に策定を求められており、今年度中にとりまとめるものです。 	D

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
16	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心してお産ができるように「仮称県南周産期医療センター」を早急に建設し、周辺自治体からも妊産婦の受け入れを行う必要がある。 ・周産期医療センターの産婦人科医師を5名採用し、過重勤務にならないように配慮するとともに、公費の研修や全国公募による採用に努めるべき。 ・当地域を安心してお産のできる地域に変え、少子化対策をパッケージ化し少子化対策予算を最大限投入し、多くの若者家族を呼び込むことが必要。 ・お産に伴う事故等が発生した場合は医師に責任が及ばぬようにして、全面的に市が責任をもって対応する仕組みを作るべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療体制については、岩手県保健医療計画に基づき、県が周産期医療圏を設定し医療提供体制の整備に努めています。現在の医療環境の状況の中で、市が単独で周産期施設の設置を行うことは、現段階では難しいと判断しています。 	D
17	<p>【事業運営に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の特徴を最大限に生かしながら、院長としっかりコミュニケーションをとって運営する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化については、本プランの重要項目の一つであり、プラン案のP22以降に各施設の連携方針を記載しています。毎月の院長・所長等会議などの場を活用し、連携を深めていきます。 	B
18	<p>【医療機能に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各医療機関が老朽化した際は、廃止することも視野に入れながら、各地域からの通院支援策を検討・実施する。役割を終えた施設は廃止し、現在の重要課題解決に財源を集中するメリハリの利いた運営を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン対象期間後のあり方も含め、中長期的なグランドデザインが必要とのご意見を踏まえ、社会情勢の変化に応じた機能やあり方について引き続き検討を進めていきます。 	B

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
19	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <p>・医師会としっかりとコミュニケーションが取れるように市長・院長が定例的に懇談会を実施し、医師会の要望を聞き実現に努力する。</p>	<p>・市と医師会との懇談会の定例開催や病院長が医師会理事として参画しコミュニケーションを図っているところです。地域医療の体制整備については医師会との連携が不可欠と考えておりますので、引き続き連携強化を図っていきます。</p>	D
20	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <p>・全国的に行政と医師会がうまく連携している先進地を視察するなどして、各医療機関を結ぶネットワーク化を行政主導で進め、検査情報等の共有化に要る診療機関の短縮や医療費削減に取り組むことが必要。</p>	<p>・新医療センター整備の一環として、医療・保健・福祉が連携したサービスの提供を目指し、デジタル技術や情報ネットワークを活用した情報ネットワークや人的ネットワークの強化を進めていきます。</p>	D
21	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <p>・行政が医療分野から撤退した場合、民間に住民の健康保持をお願いすることになるので、医師会に対しての助成を実施する。</p>	<p>・医療提供体制や社会状況の変化に施設のあり方検討を継続して進めることにしており、それぞれの役割や提供の方法を医師会と連携しながら検討していきます。</p>	D
22	<p>【医療機能に関するご意見】</p> <p>・今はDXの時代であり、電子カルテ導入がやや遅かったのではないかと思います。導入したけれど、いろいろ不具合や順調にいかないことも多くあると思いますが、そこはもっと予測を立てて動いてほしい事項です。</p>	<p>・地域包括ケアシステムを構築するためにも、県立病院や民間医療施設、介護施設と連携を取りながら、DXを活用したネットワーク化を着実にすすめていきます。</p>	B
23	<p>【在宅医療に関するご意見】</p> <p>・衣川にモバイルを活用した遠隔診療が始まりましたが、患者の自宅、自室に入っていき、看護師が診察し遠隔にて医師から画像診断指示をしてもらえることが望ましいと思っています。</p>	<p>・患者様の状況に応じて、対応できるように準備しています。</p>	B

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
24	<p>【医療機能に関するご意見】</p> <p>・市立病院は現在 50 床の休床であると思うので、その分の看護師が余っていると思われます。そこを必要とされている訪問診療に回ってもらい、民間でも回り切れないところを市の病院が柔軟に対応するようお願いしたいです。</p>	<p>・総合水沢病院では、3病棟体制から2病棟体制に変更し、50床を休床しています。それに合わせて看護師数を抑制してきており、現在、余剰人員はありません。今後、訪問診療など市民が求める医療と、他の機能や役割を調整し、看護師の適正な配置に努めます。</p>	D
25	<p>【医療機能に関するご意見】</p> <p>・レスパイト病棟もあると聞きました。出来れば、障害のお子さん、大人の方の預け入れも行って欲しいです。国や県で整備はされていてもそれは実際の現状に合っていません。そこを市でカバーしてほしいです。</p>	<p>・レスパイト入院について、障がいを抱えた子どもや一般の方の受入れについては、関係する医療施設と協議しながら対応を検討していきます。</p>	D
26	<p>【事業運営に関するご意見】</p> <p>・公立病院等の使命は、当該地域住民の医療確保、疾病予防、健康増進等に寄与することが第一の使命であり、その評価は、経営収支よりも、地域住民の満足度で図るべきである。</p>	<p>・公立病院の使命はご指摘のとおりだと思います。その使命を果たすためには持続可能な事業運営が必要であり、医療の質と経営の健全化の両輪で運営していくことが重要だと考えています。</p>	D
27	<p>【経営に関するご意見】</p> <p>・衣川歯科診療所の経営改善策として、会計年度職員採用で人件費を抑制することが記述されているが、公務公共サービスの価値は、職員の賃金、労働条件の水準に比例すると言っても良い。人件費をコストと見る発想ではなく投資として見るべき。不安定雇用で安上がりが良いとする発想は、市民を軽視するものであり撤回を求める。</p>	<p>・正規職員が減員となり、会計年度任用職員により運営している実態を踏まえ記載したものでした。ご指摘のとおり P40 の実施項目から削除します。</p>	A

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
28	<p>【医師確保に関するご意見】</p> <p>・経営の根幹の一つである医師確保について、これまでの取り組みを評価するものの、さらに視野を広げて、首都圏の医科大学または大病院の医療法人との連携を拡大すべきだ。そのためには、地元医師会を始め、市民の協力が必須だ。あらゆるツテを使って人材発掘のパイプを広げてほしい。</p>	<p>・ご指摘のとおり、医師会や市民の協力を得ながら医師確保に努めていきます。</p>	D
29	<p>【事業運営に関するご意見】</p> <p>・医療局の事業管理者は医師免許のある者にすべきだ。同職は、市医療局の医師を統括できる力量が求められる。さらに、事務方が前に出すぎる現況は問題がある。もっと各職種から経営参画させるべきだ。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>	D
30	<p>【在宅医療に関するご意見】</p> <p>・モバイルクリニックについて、寝たきりの患者などの場合、患者のベッドサイドで診察を受けることは可能なのでしょうか？</p>	<p>・患者様の状況に応じて、対応できるように準備しています。</p>	B
31	<p>【在宅医療に関するご意見】</p> <p>・在宅医療に対する不安を一つずつ取り除いていくと、‘在宅率’は上がっていくのではないかと思います。その一つがレスパイト入院です。在宅推進とレスパイト整備はセットだと思いました。</p>	<p>・市立医療施設の役割の一つとして、レスパイト入院に対応できるよう取り組んでいきます。</p> <p>・プラン P39 の総合水沢病院の具体的な取組にもレスパイト入院の対応検討を追記しました。</p>	A
32	<p>【市の施策に関するご意見】</p> <p>・医療的ケア児への対応は具体的にどのように検討しているのでしょうか？例えば、ショートステイのニーズや災害時の対応はどう考えていますか？</p>	<p>・対象となる家族の要望を把握し、ご意見のありました、ショートステイや災害時の受入れなどについて、具体的な検討をすすめていきます。</p>	D

No.	意見（概要）	市の考え方（回答）	区分
33	<p>【新医療センター整備に関するご意見】</p> <p>・新医療センターは現在の総合水沢病院とは異なる役割を担う部分があるように感じます。職員の人材育成・スキルアップを計画的に取り入れ、スムーズに移行できることを望みます。</p>	<p>・新医療センターに対し市民が求める医療サービスを提供するため、必要な人材の確保と育成に取り組んでいきます。</p>	D